

## ここに注目！『アンパン道路』



アンパン道路の工事の様子

1910（明治43）年4月、旧豊平町役場が大字月寒村（現在の月寒西1条6丁目）に移転した際、当時の平岸村の人たちは、月寒方面へ直接向かう道がなく、大変苦勞していました。

そこで、現在の平岸小学校（平岸2条14丁目）前から役場まで、全長約2.6キロメートルの道路を造ることになりました。

工事は、起伏が激しい地形を通る大変なもので、当時月寒に駐屯していた陸軍第7師団歩兵第25連隊と住民が協力して進められました。

その際、従事した兵士に毎日アンパン5個が配られたことから、この道は「アンパン道路」と呼ばれるようになりました。

## 完成から一世紀～思いを込めた大きな看板

取り組み②



多くの人が集まった除幕式

平岸と月寒を結ぶために造られたアンパン道路。この道路が1911（明治44）年に完成してから、今年でちょうど100年になります。この節目の年を迎えることを記念して、昨年11月に「アンパン道路100年記念式典」が盛大に行われました。

式典では、道路の平岸側の入り口に、かねてから地域の人たちが切望していた、道の方向を示す大きな看板が設置されました。

看板は、地元札幌平岸高校のデザインアートコースに通う松原みやびさんがデザインしたもので、アンパンをイメージした柔らかく温かみのある色合いとなっています。

式典の後には、道路を実際にウォーキング。参加者は、100年の歴史を感じながら、心地よい汗を流しました。



至月寒 式典後のウォーキング



見どころ②

アンパン道路



南平岸地区町内会連合会  
会長 末廣仁志さん

南平岸地区は、自然と都市機能がうまく調和し、まち全体が活気にあふれる便利で住みよい地域です。

ここでは、誰もが生き生きと暮らせる優しく温もりのあるまちを目指し、住民が協力してまちづくりに取り組んでいます。

歴史や文化を知ることのできる見どころもたくさんあります。皆さん、ぜひお越しください。

## こんな場所もあります！

平岸高台公園



地下鉄南平岸駅の東側に広がる、芝生の斜面を中心とした公園です。

地元テレビ局のバラエティー番組でロケ地として使われたことがきっかけとなり、若者を中心に全国から多くのファンが訪れる「穴場」の名所です。

